

令和7年度第1回安城市地域ケア推進会議

日時 令和7年4月17日（木）

午後1時30分～午後3時

場所 社会福祉会館 3階 会議室

1 高齢福祉課長あいさつ

安城市の高齢化率は22%を超えており、全国平均から見ればまだ低い状況ではあるが、確実に高齢化は進んでいる状況にある。高齢者が、介護が必要になっても住み慣れた安城市で、自分らしく生活を継続できるよう医療、介護、予防、住まい、生活支援のサービスが切れ目なく提供される地域包括ケアシステムの重要性は益々高まってきている。今年度より本会議の開催方法を改め、年4回開催としていますが、今後も引き続き地域ケア推進会議において活発な意見交換を行い、安城市版地域包括ケアシステムの推進に努めたい。

2 出席者紹介

（部会のメンバー、事務局一人ずつ自己紹介）

3 会長・副会長選出

事務局)

○会長選出

今年度は、医師会部会の渡辺弘樹先生に会長をお務めいただくということをこの場で提案させていただきます。

（一同拍手で賛同）

皆様にご賛同をいただきましたので、今年度の会長は医師会部会の渡辺先生にお願いします。なお、当会議の会長は、認知症初期集中支援チーム検討委員会および安城市医療介護福祉ネットワーク協議会の会長も兼ねていることを申し添えます。

○副会長選出

従来から会長の推薦によることとしているので、ご指名いただきたい。

（渡辺会長により、地域福祉に深くかかわりのある保健福祉部会の杉浦一成様を指名。）

渡辺先生、杉浦様、一年間よろしく申し上げます。

4 会長あいさつ

前任の会長の鳥居先生がご退職されるということでご指名いただいた。まだ2年しかこの会議の経験はないのでぜひ皆さんのお力を借りながら精一杯頑張りたい。医療、保健、行政、福祉、介護などあらゆる方面からの人が集まる貴重な時間だと思う。これから医師会部会、訪問看護ネットワーク部会で南海トラフ地震の発災時の対応について考えているが、その際も顔が見える関係が非常に大事だと思うし、この会は非常に重要な機会になるのではないかと思う。

よろしくお願いたします。

5 会議の概要説明（資料1）

事務局）

（資料1に沿って説明）

地域ケア推進会議は、今年度より年4回の開催となっている。

6 議題

（1）令和7年度地域包括ケア推進事業計画について（資料2）

事務局）

（資料2に沿って説明）

保健事業との一体的実施事業について、令和6年度は8地区全てでポピュレーションアプローチを実施し、8会場で延べ250名強の参加があった。地域の身近な通いの場で、フレイル予防や健康教育を行うことで、高齢者の健康意識の向上を図った。実施結果から地区ごとの健康課題を把握して検証と課題分析を行いながら次年度の事業の方にも繋げていきたい。

認知症の人とその家族の支援の取り組みについて、認知症サポーターの養成にこれまで以上に力を注いでいく。令和6年度は児童クラブ等で認知症サポーター養成講座を行い、延べ400名以上の子供たちに向けて、認知症に係る正しい知識の普及啓発の方にも努めた。令和6年度はチームオレンジに認知症当事者の登録もあったので、認知症当事者の意見を取り入れる仕組みなどを考えていきたい。

令和7年度から、次期あんジョイプランの策定に合わせて地域の実情に応じた認知症政策推進計画の立案をしていく予定で準備を始めている。認知症についての市民の理解を深めるための取り組みとして、9月6日に市民向けの認知症の啓発イベントを計画している。

今年度より、重層的支援体制整備事業を本格的に稼働していく。住民の複合化、複雑化した支援ニーズに対応した包括的な支援体制を構築し、安城市全体で地域共生社会の実現を目指していく。

地域支援部会）

どういう目的で小学生に認知症サポーター養成講座を行っているのか。

事務局）

若い世代から認知症を身近なこととして捉えていただく機会として、ご協力いただける学校では授業の中で講座をやらせていただいたり、夏休みの児童クラブで講座を行っている。講座を聞いた児童が家に帰って親御さんたちに話し合ってもらえるきっかけとして取り組んでいる。

地域支援部会）

認知症を理解するという捉え方でいいか。

事務局)

認知症に対して漠然とした不安があるよりも、誰しものが認知症になる可能性がある現代において認知症を身近な存在として理解を深めるきっかけとして講座を行っている。

地域支援部会)

認知症サポーターという名称は、子どもが認知症の方のサポートをするという印象を受けてしまう。理解を深めるだけでなくもう少し負担のあるものに聞こえてしまう。

事務局)

そのような意見を今後、認知症の計画を立てる際に大事にしていきたい。地域で支える認知症サポーターがその後チームオレンジとして地域で活動しているが、そんなチームをみんなで組んでやっていきたいというところで小学生にも働きかけている。

地域支援部会)

児童クラブだと核家族の子が多いが、三世同居、四世同居の子にも働きかけるためには学年全体に認知症サポーター養成講座を実施できないか。

事務局)

授業のカリキュラムに取り入れるのはなかなか難しいので、まずは児童クラブで実施して広めていけると良い。

(2) 在宅医療・介護連携推進事業について (資料3)

(令和6年度実施報告、令和7年度事業計画、研修会運営マニュアル)

事務局)

(資料3に沿って説明)



↑ 研修会
マニュアル

歯科医師会部会)

訪問歯科診療の担当歯科医が変わる場合もあるので、依頼があれば在宅医療サポートセンターにFAXを送っていただけると良い。

デイネット部会)

事業報告でサルビー見守りネット地域資源マップの更新とあるが、今年度はデイネット部会も各事業所の詳細についてマップに掲載する予定をしている。せっかくの機能を活用していきたい。

地域支援部会)

以前の会議でも発言したが、ICTに関して利用補助をしてもらえると、よりICT化が進むのではないかと。

(3) 検討テーマについて (資料4)

事務局)

(資料4に沿って説明)

連絡事項

- ・医療・介護・福祉に関わる方へ向けた心不全基礎講座 (すべての部会)
日時：令和7年5月14日 (水) 午後6時30分～午後8時
場所：へきしんギャラクシープラザ 大会議室
- ・エンドオブライフ・ケア研修会 (すべての部会)
日時：令和7年7月12日 (土) 午後1時30分～午後4時30分
場所：安城更生病院 第1講堂
- ・(仮) 災害時の医療・介護・福祉の連携についての研修会 (令和7年度安心塾研修会)
日時：令和7年7月26日 (土) 午後2時30分～午後4時30分
場所：安城市民会館 3階 大会議室
主催：安城訪問看護ネットワーク、安城市医師会
対象：すべての部会
- ・自立支援サポート会議
日時：令和7年5月22日 (木) 午後2時～ オンライン開催
- ・地域ケア推進会議の開催日について (資料5)



↑会議録確認
できます!

次回 令和7年7月17日 (木) 午後1時30分～3時 社会福社会館 会議室